

(1番……もう1度……2番……)

1 

2 


3 

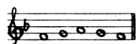
4 

5 

[解答らん]

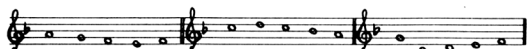
問題3 メロディーをきいて、全音符で五線紙にかく問題。(へ長調)

へ長調の音階 

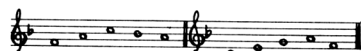
練習 → 

問題

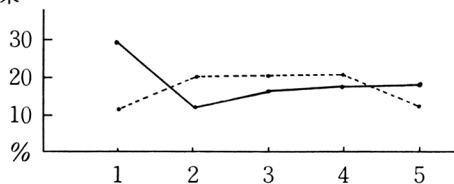
↓ 1番 2番 3番



4番 5番



結果



考察


問題1, 2が階名のみで感覚的能力の測定であったのに対して、実際に記譜する知的能力を含んだ問題で、きわめて誤答が多い。この原因は、ハ長調の読譜からへ長調への切りかえができず、ハ長調ならば正答であったものが数多くみられた(ことに2番の「そろそふぁみ」は「れみれどし」になっていた)ことから明白である。また、全般的に、日頃の学習で、聴音記譜の練習があまり行われていないことも原因と思われる。

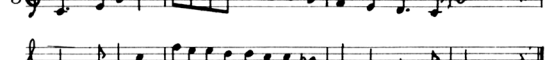
(問題番号ー4)

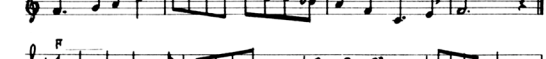
これは、途中で調子が変わったかどうかをあてる問題です。途中で変わったものには×, 変わらないものには○をつけてください。1回ずつひきます。

1 

2 

3 

4 

5 

[解答らん]

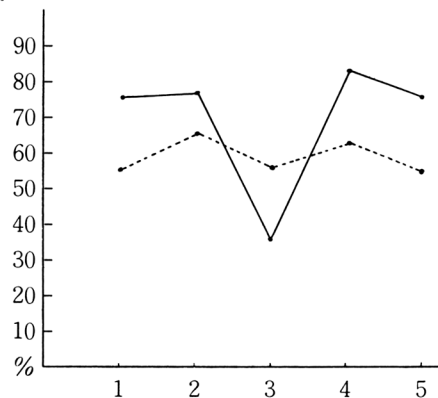
問題4 とちゅうで調子が変わったかどうかをあてる問題。

※ 変わった時は →×

※ かわらない時は →○

問題	1番	2番	3番	4番	5番
結果	○	×	×	○	×

結果



考察

調子の変化を判別する問題で、1番と4番が変化なし、その他は臨時記号による自然な転調のため、